

(公 印 省 略)

2025年4月18日

関 係 各 位

リレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんま実行委員会

実行委員長 大 島 主 好

2025年度リレー・フォー・ライフ・ジャパン

「プロジェクト未来」研究助成公募のご案内

時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

また、日頃よりリレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんまの活動につきまして、御支援御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、(公財)日本対がん協会では、「プロジェクト未来」研究助成として、全国のリレー・フォー・ライフ・ジャパンで寄せられた寄付金の一部を、がん治療に関する基礎研究や臨床研究、患者・家族のケアに関する研究のために、1件300万円を上限に交付しています。

つきましては、御多忙の折とは存じますが、別添詳細情報を御確認いただき、貴職関係者に御周知くださいますようお願い申し上げます。

なお、お申込みに関しましては、各自で御対応いただきますよう併せてお願い申し上げます。

リレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんま実行委員会事務局

(公財)群馬県健康づくり財団 企画広報課

T E L : 027-269-7820・7403

F A X : 027-269-8928

E-mail : kikaku@gunma-hf.jp

2024 年 4 月 吉日

**2025 年度 リレー・フォー・ライフ・ジャパン
「プロジェクト未来」研究助成公募のご案内
及びポスター掲示のお願い**

謹啓

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より弊会の事業にお力添えをいただき厚く御礼申し上げます。

この度、がん研究に助成する、リレー・フォー・ライフ・ジャパン「プロジェクト未来」研究助成の公募を 5 月 26 日(月)より開始いたします。

この制度は 1 件最高 300 万円を助成するもので、対象の研究を日本対がん協会が組織した選考委員会を通して決定させていただきます。本年度も助成金の総額を 3,000 万円にいたしました。対象はがんの基礎研究・臨床研究だけでなく、がんの支持療法、社会面に関する研究も含まれます。

この助成は、がん征圧、がん患者・家族の方々を支援するチャリティー活動「リレー・フォー・ライフ」を通じて集められた寄付金で運営されています。ゆえに「研究の成果をいち早く患者の元に届けてほしい」という思いが込められていますが、助成金の使途については制約が少ないものになっております。

つきましてはご多忙中の折、誠に恐れ入りますが次葉の募集要項をご高覧の上、同封のポスターを掲示して戴き貴施設内で広く周知してくださると幸いです。

質問等ございましたら下記までご一報下さい。

よろしくお願い申し上げます。

謹白

■ご質問・お問合せ先

公益財団法人日本対がん協会 リレー・フォー・ライフチーム
「プロジェクト未来研究助成」係 担当・阿蘇敏之

E-mail: aso@jcancer.jp

TEL: 03-3541-4771

がんサバイバーに夢と希望と笑顔を届ける研究の公募 ～リレー・フォー・ライフ・ジャパン プロジェクト未来～

公益財団法人日本対がん協会は5月26日(月)付で、がん研究に助成するリレー・フォー・ライフ・ジャパン(RFLJ)「プロジェクト未来」研究助成の公募を始めます。

将来のがん医療に役立つと期待されるがんの基礎研究や臨床研究、がんの支持療法、社会面に関する研究を支援するもので、分野Ⅰで1件あたり最大300万円以内、分野Ⅱで1件あたり最大100万円以内を助成します。(総額3000万円以内)

この助成制度は日本対がん協会と、がん患者・家族の方々を支援する全国のリレー・フォー・ライフ・ジャパン(RFLJ)実行委員会を通じて寄せられた寄付金ですべてを運営しており、「研究の成果をいち早く患者のもとに届けてほしい」という患者・家族・支援者たちの切なる願いが込められています。

また米国で始められたこのRFLの募金が、慢性骨髄性白血病等の分子標的薬であるイマチニブ(グリベック)の開発の一助となっており、応募者にとっても単なる助成金とは違う、夢や願いが込められたものとなっています。

詳しくはリレー・フォー・ライフ・ジャパンのホームページを(<http://relayforlife.jp/>)ご覧下さい。

募集要項は2～4ページに記載しておりますので、必ずご確認をお願い致します。
多くのご応募をお待ちしております。

2025 年度（第 13 回）

リレー・フォー・ライフ・ジャパン「プロジェクト未来」研究助成募集要項

1. 助成の趣旨

がん患者・家族の方々を支援するイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン」を通じて寄せられた寄付を基に、将来のがん医療に役立つと期待されるがんの基礎研究、臨床研究、患者・サバイバー・家族に関する研究等を支援する目的で創設した。

2. 助成分野

[分野Ⅰ]…基礎研究・臨床研究（がんの発症メカニズムの解明に向けた基礎研究、新薬開発に関わる基礎・臨床研究、臨床試験、疫学研究等）

※生物学的実験やオミックス解析が大きな割合を占める研究は、支持療法に関する研究でも分野Ⅰでの応募をすること。

[分野Ⅱ]…がんの支持療法、社会面に関する研究（患者・サバイバー・家族の支援、就労、治療後遺症、リハビリ、口腔ケア、がん相談に関する研究等）

3. 助成金額（総額 3000 万円以内）

① 分野Ⅰ 1 課題 300 万円以内

② 分野Ⅱ 1 課題 100 万円以内

※ 研究が複数年にわたる場合は、3 年間を上限に次年度に繰り越すことができる。

4. 募集期間

2025 年 5 月 26 日（月）～7 月 15 日（火）17:00 迄【必着】

5. 申請資格

以下の①か②のどちらかを満たす者

① 日本の研究機関に所属する研究者個人、または研究グループであること。

② 日本の医療機関等に所属する従事者であること。（医師、看護師、薬剤師、技師、管理栄養士、放射線医学物理士、実験動物関係技術者、公認心理師、臨床心理士 等）

※ 申請は各年度につき、1 人 1 件までとする

※ 過去 3 年以内に喫煙に関係する財団から助成を受けた申請者を除く

※ 共同研究について：同一教室内等、申請者と同一の所属部・科の研究者のみで構成される共同研究は対象としない

6. 申請方法

リレー・フォー・ライフホームページ内の「プロジェクト未来」のページ

(<https://relayforlife.jp/project-mirai>) からダウンロードした研究助成金申請書（公開は 5 月中旬を予定）に必要な事項を明記の上、必要な資料を添えて以下の方法で送付する事。

・E-mail の場合【送信先】

メールアドレス rfl@jcancer.jp

※ 件名には「プロジェクト未来研究助成応募」と「応募者名」を入力

※ 添付データの容量が大きく一度に送信できない場合は、オンラインストレージで送付可。その場合、ダウンロード期間を 7 日以上に予め設定する事。

・郵送の場合【送付先】

〒104-0045

東京都中央区築地 5-3-3 築地浜離宮ビル7階

(公財)日本対がん協会「プロジェクト未来」研究助成金係

※申請書並びに資料等はこの研究助成金の審査以外の目的には使用しない。

7. 申請に際しての留意点

- ① 申請書は採否にかかわらず一切返却しないものとする。
- ② 当協会は採択した案件に関する情報（氏名、所属、助成対象となった研究テーマ、助成額等）を日本対がんの協会ウェブサイト、事業報告書、協会広報誌等に掲載し公表する。
- ③ 研究成果に関する知的財産権は申請者に帰属する。当協会はその権利を主張しない。
- ④ 当協会のプライバシーポリシー【<https://www.jcancer.jp/privacy>】を必ず読んだ上で応募をする事。なお、応募をもって当協会のプライバシーポリシーに同意したものとみなす。

8. 助成金受給者の義務

- ① 受給者は助成金の受領後、翌年末までに「助成金使用報告書」（書式自由）、「研究結果の概要報告書」（書式自由）を日本対がん協会に提出する事。またその報告書には論文等、成果物を添付する事。
- ② 当該年度内に助成金を使い切れなかった場合は、都度その年の 12 月末までに、「助成金使用報告書」（書式自由）、「研究結果の概要報告書」（書式自由）に加え、「助成継続申請書」（書式指定）を日本対がん協会に提出し報告する事。
- ③ 学会、論文等の成果物には当助成金の支援を受けた事を明記する事。
(日本語表記：RFL プロジェクト未来助成金、英語表記：Project Mirai Cancer Research Grants)

- ④ 助成が決定した研究者は各地で開催される「リレー・フォー・ライフ」ウォークイベントに参加し、会場で研究内容並びに成果（期待される成果を含む）等の説明が望ましい。参加する開催地は問わないが、研究者の所属する機関のある地域、もしくは近隣地域が望ましい。
- ⑤ 受給者の所属先変更、また研究者の引継ぎ、交代等、変更がある場合は、速やかに日本対がん協会へ連絡する事。

9. 助成金の返還

本助成金は給付型であり、原則返還の義務を負わない。ただし、以下のいずれかに該当した場合は速やかに全額の返還を要する。

- ① 受給者が本研究助成金支給対象である研究テーマの研究が中止（長期中断）又は継続不可能となったとき。
- ② 正当な理由なくして、研究報告書を期限までに提出できなかった場合。
- ③ 当該助成金の申請書に記載された研究テーマにおける不正があった場合や、助成金の不適切な使用が明らかになった場合。
- ④ その他研究助成金受給者としてふさわしくない行為があった場合、または当協会として許容できない特別な状況が認められた場合。

10. 審査・選考ならびに採否通知について

申請書に基づき、RFLJ「プロジェクト未来」審査委員会で審査・選考し、原則として秀でた研究、或いは、委員会において重要性・必要性が高いと判断された研究提案を各分野（分野Ⅰ、分野Ⅱ）で予算が許す限り、数多く選考するものとする。選考結果は日本対がん協会の助成審査委員会を経て、同理事会に報告し承認を得る。

なお、助成採択・不採択通知は10月頃に電子メールで行う。（採択者には別途捺印書類を郵送）

11. 問合せ先

（公財）日本対がん協会 リレー・フォー・ライフチーム
「プロジェクト未来研究助成」（担当：阿蘇）

◆E-mail：aso@jcancer.jp ◆TEL：03-3541-4771

その研究が

次の研究に
つながる

2025年度 「プロジェクト未来」助成研究の公募

がん患者・家族の方々を支援するイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン」を通じて寄せられた寄付を基に、将来のがん医療に役立つと期待されるがんの基礎研究、臨床研究、患者・サバイバー・家族に関する研究等を支援する目的で創設した。

助成金額（総額3000万円以内）

①【分野Ⅰ】……1件 300万円以内 ②【分野Ⅱ】……1件 100万円以内 ※研究が継続率にわたる場合は、3年間を上限に次年度に繰り替えることができる。

対象

【分野Ⅰ】基礎研究・臨床研究（がんの発症メカニズムの解明に向けた基礎研究、新薬開発に関わる基礎・臨床研究、臨床試験、疫学研究等）
※生物学的実験やオミックス解析が大きな割合を占める研究は、支援費法に関する研究でも分野Ⅰでの応募をすること。

【分野Ⅱ】がんの支援療法、社会に関与する研究（患者・サバイバー・家族の支援、就労、治療後ケア、リハビリ、口腔ケア、がん相談に関する研究等）

申請資格

以下の①か②のどちらかを満たす者で、申請は1人1件までとする

①日本の研究機関に所属する研究者個人、または研究グループであること。

②日本の医療機関等に所属する従事者であること。（医師、看護師、薬剤師、技師、管理栄養士、放射線医学専門士、実験動物飼育員等、公認心理師、臨床心理士等）

※過去3年以内に販路に関与する財団から助成を受けた申請者を除く

※共同研究について：同一教室内等、申請者と同一の所属部・科の研究者のみで構成される共同研究は対象としない

応募方法はこちら

リレー・フォー・ライフ
ホームページ内の「プロ
ジェクト未来」のページ
をご覧ください。

<http://relayforlife.jp/donate/project1>

応募締め切り

2025.7.15(水) 17:00【必着】

